

## 「パウロ書簡Ⅱ」学びの予定

担当；船橋 誠

### はじめに

パウロ書簡Ⅱでは、ローマ人への手紙を学ぶ訳ですが、まずこの書をどう読むかという釈義や方法論的なことを学びます。さらに、どう表現し、どのように生き方と結びつけるのか、教会で神のことばとして皆で聞くことについて、すなわち具体的には、説教（牧会や伝道を含む）としてかたちにするとところを学びたいと思います。

### 使用するテキスト等

本講では、邦訳聖書（新改訳2017等）と、ギリシア語本文（ネストレ28版か、UBS改訂第5版）、パウロ神学の諸本、諸註解書、説教集を参考にしていきますが、必ず手元に準備いただくものとしては、邦訳聖書とギリシア語テキストです（PCソフト版でも可）。

### 日程スケジュール

全体を14回で予定しています。休講となった場合、単位数の関係で「予備日」を使用して行う場合もありますので、一応ご予定を空けておいてください。

- 第一回 パウロについて／ローマ書をどう読み、どう語るか
- 第二回 本文批評から翻訳、そして説教まで 例；12章1～2節
- 第三回 註解書・説教集、新約神学書を読むこと
- 第四回 1章1～7節 序文 **演習**（翻訳）
- 第五回 1章8～17節 感謝の祈りとテーゼ
- 第六回 1章18～25節 人間の罪 **演習**（説教）
- 第七回 3章21～26節 信仰義認
- 第八回 5章1～11節 神との平和 **演習**（説教）
- 第九回 7章 キリスト者と律法
- 第十回 8章 御霊（1～27節）
- 第十一回 8章 神のご計画（28～30節） **演習**（説教）
- 第十二回 9～11章 イスラエル 終末論
- 第十三回 12章 教会論（3～8節） **演習**（説教）
- 第十四回 13章 キリスト者の倫理
- 第十五回 予備日

### 課題

このクラスでは、学期末試験や期末レポートの要求はありません。但し、上記の**演習**箇所では、事前にテキストの「翻訳」あるいは「説教」までを各自で行って、授業で分かち合うようにしたいと思います。また、ほかに指定の読書課題等を出すことがあります。

## 参考図書（以下、日本語のみ）

### パウロ神学

- J.D.G.ダン著「使徒パウロの神学」浅野淳博訳 教文館 ○  
リチャード・N・ロングネカー著「パウロの生涯と神学」聖書図書刊行会  
N.T.ライト著「使徒パウロは何を語ったのか」岩上敬人訳 いのちのことば社 ◎

### 本文批評・釈義

- B.M.メツガー著「新約聖書の本文研究」橋本滋男訳 日本キリスト教団出版局  
蛭沼寿雄著「新約本文学演習」 新教出版社  
田川建三著「書物としての新約聖書」 勁草書房  
G.D.フィー著「新約聖書の釈義」永田竹司訳 教文館 ◎  
原口尚彰著「新約聖書釈義入門」 教文館

### 注解書

- F.F.ブルース著「ローマ人への手紙」ティンデル聖書注解 いのちのことば社\* ○  
N.T.ライト著「ローマ書I」浅野淳博訳 教文館  
カール・バルト著「ローマ書講解」（上・下）小川圭司他訳 平凡社 ○  
E・ケーゼマン著「ローマ人への手紙」岩本修一訳 日本キリスト教団出版局  
千葉恵著「信の哲学」（上・下） 北海道大学出版会  
小川修著「ローマ書講義」（I～III） リトン

### 説教集等

- 内村鑑三著「ロマ書の研究」 教文館 ○  
北森嘉蔵著「ローマ書講話」 教文館  
竹森満佐一著「ローマ書講解説教」（I～III） 新教出版社  
奥村修武著「ローマ人への手紙講解説教」（上・下） キリスト新聞社  
ジョン・R・W・ストット著「ローマ人への手紙五～八章」飯塚俊雄訳 聖書同盟  
D・M・ロイドジョーンズ著「ローマ書講解 8:17~39」渡部謙一訳 いのちのことば社

◎・・・かなりオススメ

○・・・ややオススメ

（以上、\*印のものを除いて、手元にあって参照できるもののみを記しました。◎や○は買って損はないと思うものですが、もちろん購入の必要は全くありません。）